

1 小単元名 日本の歴史 新しい日本、平和な日本へ

2 小単元について

本小単元は、学習指導要領第6学年の内容(1)のケ「日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。」を扱う。

戦後、日本が憲法を制定し、様々な改革により平和で民主的な国家として再出発を果たしたことや、海外からの援助や国民の努力によって生活が豊かになり、国際社会においても重要な役割を担うようになったことなど、日本の戦後の歩みについて学ぶ。終戦直後、食料や物資が不足し、住む家もない状況が続き、国民は生きていくことさえ困難な生活を強いられてきた。にもかかわらず、戦時中の空襲により日本各地が焼け野原となったときから約19年という短期間で、日本で東京オリンピックが開催されるまでに復興・発展を遂げてきた。その急速な復興やその後の発展について調べ、諸外国との関係、国民の努力、国の政策などについてとらえることができるようにしたい。そして、その歩みが今の民主的で平和な日本の基礎となっていることに気付くとともに、これからの日本について考え、国民の一員としての自覚をもって自分たちにできることは何なのかを考えていけるようにさせたい。

本学級の児童は、これまで、縄文時代と弥生時代の暮らしの変化、平安時代の貴族と武士の生活の違い、江戸時代と明治時代の国民の生活や社会に対する意識の変化など、多くの社会的事象について資料から読み取り、比較していく活動を行ってきた。前小単元「長く続いた戦争と人々の暮らし」では、戦争の経緯や背景について知り、国内外ともに多くの被害や犠牲が出たこと、国民の生活が戦争に注がれて苦しいものになっていったことなどを学んだ。また、学習をふまえ、戦争に対する考えや戦後の日本に望むことを自分なりにまとめる活動を行ってきた。それにより、戦争の悲惨さや国民の苦労を自分なりに感じ取り、当時の人々の思いに迫ることができた。しかし、そうした社会的事象に対する自分の考えを相手に伝えて考えを深めたり、自分のこととして捉えたりする児童は一部の児童に限られている。

そこで、本小単元では、まず日本が戦後に復興・発展していったことを認識するために、終戦直後の焼け野原の様子とオリンピック開催当時の写真資料を提示する。2つの資料を見比べて、約19年の間に何があったのか、戦後の復興・発展の様子に関心をもたせながら時代背景について考えさせたい。食料や物資の不足、諸外国とのかわり、政治や社会のしくみ、産業問題に対して、終戦後の日本にどのような対策が講じられ、世の中がどのように変化していったのか、資料をもとに観点をしぼって調べたり話し合ったりしていく中で、自分の考えがもてるように支援していく。また、学習のまとめでは、次代を担う自分たちには何ができるのか、2020年東京オリンピック開催を例に挙げ、今日の日本や世界の問題についてふれながら、これからの日本のあり方について考えさせたい。

そして、自分たちの今の暮らしがあるのは、先人たちの努力や苦労のおかげであることに気づき、日本がこれから先も平和で民主的な国であり続けるためには、自分たちが努力し続けていかなければならないということを自覚できるようにさせたい。

3 児童の実態 (男子16名 女子14名 計30名)

①社会科の学習は好きですか。

好き (21名)	どちらかといえば好き (5名)	どちらかといえば嫌い (3名)	嫌い (1名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔のことがわかる</li> <li>・日本の歴史と文化を知ることができる</li> <li>・現代との違いを知るの楽しい</li> <li>・資料を比べると変化がよくわかるの楽しい</li> <li>・昔の人々の思いを考えるのが好き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を読み取るのが好き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人や地域の名前を覚えるのが苦手</li> <li>・5年次は楽しかったけど、歴史上の人物が覚えられない</li> <li>・難しい言葉がいっぱいで覚えづらい</li> <li>・歴史が好きではない</li> </ul>	

②戦時中や戦後の日本の様子を聞いたり調べたりしたことはありますか。ある場合、その内容は何ですか。ない場合、どのような方法で調べていきたいですか。

ある (8名)	ない (22名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>～聞いたり調べたりした内容～</li> <li>・芋などを食べていた</li> <li>・戦争に使われた道具や当時の生活について (3名)</li> <li>・外国の戦力が圧倒的だった</li> <li>・家族と別れて暮らしていた</li> <li>・長崎、広島に爆弾が落とされたこと</li> <li>・防空壕について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～調べていきたい方法～</li> <li>・インターネット</li> <li>・本</li> <li>・戦争に関する資料</li> <li>・戦争を体験した方のお話</li> </ul>

③戦後の人々の生活は、どのようなものだったと思いますか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧しい (5名)</li> <li>・つらい (6名)</li> <li>・苦しい (4名)</li> <li>・食べ物がなく、お腹がすいている (2名)</li> <li>・少しずつもとに戻っていったが、静か</li> <li>・ほしい物や必要な物がそろわない (4名)</li> <li>・住む所がない (3名)</li> <li>・餓えた人もいたはず</li> <li>・生活は大変だが、戦時中に比べて安心感がもてた</li> <li>・戦争が終わり、悲しむ人と喜ぶ人それぞれだった (2名)</li> </ul>	(3名)
--	------

④戦後、日本が直面した課題は何だと思いますか。(複数回答可)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない (16名)</li> <li>・お金がない (2名)</li> <li>・信頼を取り戻すこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和で豊かな国にすること (5名)</li> <li>・より強い日本にすること (3名)</li> <li>・瓦礫や死体の処理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地や町の復興 (2名)</li> <li>・食料、生活に係る物の調達</li> <li>・外国の占領</li> <li>・世界に劣る現状 (武力・技術)</li> </ul>
---	--	--

⑤現在の日本は、平和だと思いますか。

思う (24名)	思わない (6名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争や争いがない。(16名)</li> <li>・自分のしたいことができる。(2名)</li> <li>・昔よりは平和。でも課題もある。(4名)</li> <li>・好きなだけ食べて、笑ってられる。(2名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪が絶えないから (2名)</li> <li>・原発問題・環境問題など、課題は山積みだから (3名)</li> <li>・被災地の方々が大変 (1名)</li> </ul>

《考察》

本学級では、社会科の学習を好む児童が多い。特に、歴史上の人物やその業績、これまでの日本の成り立ちについて学んだり、日本の文化にふれたりすることに楽しさを感じている。しかし一方で、歴史学習を暗記学習と捉えている児童は、「歴史上の人物を覚えるのが苦手」「言葉が難しい」といった苦手

意識があることがわかった。また、資料をもとに当時の状況を読み取ったり考えたりできる児童は多いが、それらを根拠に自分の考えを发表或し相手に伝えたりすることに自信をもてない児童も見られる。

戦争について「怖い」「嫌だ」といった感情を抱いたり、戦時中の様子を想像したりはできるが、戦後の人々の生活がどのようなものであったのかをよく理解していない。また、これまでの国語科や社会科の学習を通して、戦争による被害やその当時の状況について理解している面はあるものの、それらの問題を人々がどのようにして打開していったのか、どのような苦労があったのかといった時代背景にまで考えが及んでいない。

そこで、まずはゲストティーチャーを招き、戦後の生活がどのようなものであったのかお話をいただくことで、戦後の国民生活について実感を伴って理解させていく。次に、戦後の悲惨な状況から日本がどのようにして東京オリンピックの開催に至ったのか、日本が行ったであろう取り組みについて予想し、戦後の復興や国民生活の向上に着目させながら戦後の様子を調べていく。自分なりの予想を友達と交流し、ともに資料を読み取ったり調べたりしていくことで、互いの考えを尊重しあいながら多面的に問題解決できるようにしていく。そうすることで、社会的な事象に対して自分なりの考えをもつきっかけを作っていきたい。さらに、戦後の復興や国民生活の向上に対する理解だけに留めず、これからの日本のあり方についてグループで話し合いたい。現在の日本の問題やこれからの日本をよりよくしていくための方策について考え、これからの日本がどのような国になってほしいか、グループでプレゼンテーションを行い、意見交流を図っていく。そうすることで、社会科で学んだことを自分のこととして捉え、これからの日本を担う国民の一員としての自覚をもって生活できるようにさせていきたい。

#### 4 小単元の目標

- 戦後の日本が民主的な国家として出発し、国民の努力や諸外国の協力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことがわかる。
- 平和で民主的な国家の一員として、これからの日本の課題やよりよい発展について考えていくことができる。

#### 5 小単元の評価規準

評価の観点	評価規準
社会的事象への 関心・意欲・態度	○日本の戦後の歩みに関心をもち、進んで調べている。 ○平和で民主的な国家の一員として、これからの日本の課題やよりよい発展について考えようとしている。
社会的な思考・判断・表現	○日本の戦後の歩みについて、学習問題や予想を考え、表現している。 ○日本が国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことや今後世界の人々とともに生きていくことの大切さを考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	○日本の戦後の歩みについて、地図や年表などの資料や家族の話を活用して必要な情報を集め、読み取っている。 ○資料から必要な情報を読み取ったり調べたことをノートや作品などにまとめたりしている。
社会的事象についての 知識・理解	○日本が民主的な国家として出発し、国民の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。

6 小単元の指導計画（9時間扱い）

過程	時間	主な学習活動と内容
つかむ	1	<p>終戦直後とオリンピック開催当時の写真を見比べ、気付いたことを話し合う。ゲストティーチャーの話聞き、戦争が終わった後の社会の変化に関心をもつ。</p> <p>戦後、日本が様々な問題をどのようにして解決し、復興・発展していったのか、話し合う。話し合った内容をもとに、日本の戦後の歩みについて調べようという問題意識をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>戦後の日本が、短期間で復興・発展できたのはなぜだろうか。</p> </div>
調べる	4	<p>日本がどのようにして短い期間で復興・発展してきたのか、自分なりの予想を立て、それを追究するための調べ学習をする。調べた内容をレポートや新聞などにまとめる。資料を通して国民生活や時代背景を読み取り、様々な要因によって復興・発展が進んでいくことに気付く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>世の中のしくみを変える改革が行われたからではないか。（政治の仕組み）</p> </div> <p>→民主的な改革と平和主義的な日本国憲法の制定により、新しい国として出発していったことがわかる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>外国が協力してくれたからではないか。（諸外国とのかかわり）</p> </div> <p>→日本が国際社会に復帰を果たす前後の世界の動きや日本の様子について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>日本人が努力してきたからではないか。（国民生活）</p> </div> <p>→国民生活が向上していった背景に、復興を願う国民の努力があったことを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>産業が発達してきたからではないか。（産業）</p> </div> <p>→高度経済成長によって日本が発展していったことを知るとともに、公害などの問題が起こったことについて知る。</p>
まとめる	1	<p>各々の課題について、レポートや新聞にまとめて発表し合い、日本の戦後の歩みについて理解を深め、新たにわかったことや考えたことをノートにまとめる。また、復興・発展していった日本の現在について考え、今なお残る問題にも着目する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>当時の国民一人一人が「日本をよくしたい」「よりよい日本にしていきたい」と願い、努力したからこそ、戦後の日本は短期間で復興・発展を遂げることができた。</p> </div>
いかす	1 (本時)	<p>自分たちの生活に身近な題材として2020年東京オリンピックを例示し、これからの日本のあり方について話し合い、自分の考えを発表する。</p>
	1	<p>現在の日本の課題やアピールポイントについて、資料から読み取ったり調べたりしながら考える。国民の一員としての自覚をもって、自分たちがこれからの日本のためにできることはないか、グループで話し合う。</p>
	1	<p>話し合われた内容をもとに、目指すべき日本の姿やそのための取り組みについて、グループごとにプレゼンテーションを行う。自分たちが望む未来の日本について互いに意見交流を図りながら、これからの日本に対する自分の考えをまとめる。</p>

## 7 市教研社会科研究主題解明のための方策

「みえる・わかる・・・いかす」

よりよい社会の形成に参画する力を育てる社会科学習

本年度主題解明のための方策（市教研社会科部会研究計画案より）

- ① 身につけさせたい力、何を学ばせたいかを明確にし、教材の開発、教材の工夫、単元構成の工夫を行う。
- ② 学習方法、学習形態を工夫し、問題解決的な学習の充実を図る。
- ③ よりよい社会の形成に参画する力を育てる学習指導のあり方を明らかにする。
- ④ 指導と評価の一体化を図る。

本単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導および評価に取り組んでいきたい。

- ① 身につけさせたい力、何を学ばせたいかを明確にし、教材の開発、教材の工夫、単元構成の工夫を行う。

豊かな現代の社会に生きる児童にとって、戦後の苦しく貧しい生活を実感して捉えることは難しい。また、教科書で学ぶ歴史と、今の自分たちの生活とのつながりを考えるという経験は少ないと考える。よって、まずは終戦直後の食料が不足し貧しい生活を送っていた頃からわずか19年のうちに急激な復興・発展を遂げたことに驚きを感じさせ、問題意識をもたせていきたい。そして、その発展のもとに今の自分たちの生活が成り立っていることに気付かせたい。そのために、写真資料や映像資料を活用して、当時の国民生活の状況や問題点について読み取る活動を取り入れる。読み取りから、問題を打開するために日本が取り組んだことを主体的に捉えられるようにしていきたい。さらに、2020年東京オリンピックを例示し、現在の日本の課題や自分たちが望む未来の日本について話し合うことで、国民の一員としての自覚をもってこれからの日本の姿を考えられるようにしていきたい。

- ② 学習方法、学習形態を工夫し、問題解決的な学習の充実を図る。

社会科に苦手意識をもつ児童は、「社会科（歴史）学習＝暗記」という認識がある。歴史を学ぶ上で、基本的な知識の習得は欠かすことができないが、自分で考えたことを深めたり広げたりする学習を行うことで、国民の一員としての自覚をもち、公民的資質が培われていくものと考えている。そのため、既習事項や資料から読み取れる情報を根拠にして、考えたり話し合ったりする活動を取り入れる。そこから出てきた意見を学習内容に結び付けていくことで、事実を習得したり確認したりするだけでなく、人々の思いや願いにせまったり、問題解決を図ったりして、自分の考えを学習の中に反映して考えさせたい。本学習を行うにあたり、児童が課題について視点をしぼって取り組めるようにしていく。資料をいくつか提示することで、調べる内容を明らかにさせたい。資料から進んで調べ学習を進めたり、資料をもとに考えた内容を話し合ったりできるように指導を行っていきたい。

8 本時の指導（7／9）

（1）本時の目標

- よりよい国を目指した取り組みについて、話し合うことができる。
- 自分たちが国民の一員としてこれからできることを考えようとする。

（2）本時の展開

学習活動と内容	○教師の支援 ◆評価の観点	資料
<p>1 既習内容について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な改革が行われた。</li> <li>・国民が努力して復興していった。</li> <li>・国際社会にも認められるようになった。</li> <li>・国をよくしていこうと努力していた。</li> <li>・よりよい日本を目指したいという思いがあった。</li> </ul> <p>2 自分たちがこれからの日本をどうしていきたいか、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの人々の思いを無駄にしないようにしたい。</li> <li>・さらによりよい国にしたい。</li> </ul> <p>3 本時の学習課題をつかむ。</p>	<p>○前時までに学習した戦後の日本の歩みの内容について、掲示物を見ながら振り返る。</p> <p>○今の日本が先人の働きによってできたことを想起できるよう、戦後の人々の思いにふれる。</p> <p>○これからの日本について意欲的に考えていけるようにするため、東京招致最終プレゼンの映像を提示する。</p>	<p>掲示物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業</li> <li>・改革</li> <li>・国民生活</li> <li>・世界とのかわり</li> </ul> <p>顔写真</p> <p>東京招致最終プレゼン映像</p>
<p>今よりよい国を目指して、日本はどのような取り組みを行っていけばよいのだろうか。</p>		
<p>4 よりよい国を目指すための取り組みについて、自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統を受け継いでいく。</li> <li>・IT企業や機械業の技術をさらに高める。</li> <li>・国同士で仲良くなって助け合う。</li> <li>・被災地や原発問題を解決していく。</li> </ul> <p>5 グループで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">日本のアピールポイント</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">（よさを伸ばしていく）</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界にはない日本の伝統をこれからも大事にしていきたい。</li> <li>・車やコンピュータ関係を発展させるといいと思うよ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">日本の問題（解決する）</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原発問題で困っている人もいるからまずはそれを解決させるべき。</li> </ul>	<p>○よりよい国を目指すための取り組みについて考えを明らかにさせるため、日本のよさを伸ばしていく点と問題を解決する点の二つに観点をしぼる。</p> <p>○日本の問題点にばかり偏らないように、先人の思いにふれながら、日本のアピールポイントに目を向けさせる。</p> <p>○戦後の復興・発展における取り組みと比較して考えられるよう、画用紙に観点を示しておく。</p> <p>○日本のアピールポイントを赤の付箋紙、日本の問題点を青の付箋紙に分け、日本をよくするために様々な点で考えられることを視覚的に捉えさせる。</p> <p>○考えが浮かばない児童・グループには、世界に評価されている日本の良い点や今の日本の問題に関する資料を提示する。</p>	<p>画用紙 付箋紙 (赤、青)</p> <p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の 評価</li> </ul>

<p>・領土問題によって国同士の争いがあることを解決する必要があるよ。</p> <p>6 話し合った内容を全体で発表する。</p> <p>7 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>○具体的にどの取り組みを行うのがよいか考えるようにするため、よさを伸ばしていく点と問題を解決する点について一つずつ選ぶように伝える。</p> <p>◆よりよい国を目指した取り組みについて話し合っている。 【思考・判断・表現】</p> <p>○これからの日本のために様々な取り組みが行えることを理解できるようにするため、各グループで出した意見を発表させる。</p> <p>○発表の際、なぜその取り組みを選んだのか、根拠を明らかにして述べるように助言する。</p>	<p>・今の問題</p>
<p>よりよい国を目指して、今ある問題を解決できるように努力しながら、日本のよさを伸ばしていく。また、自分たちも日本のためにできることを考えていく必要がある。</p>		
<p>8 次時の見通しをもつ。</p>	<p>○話し合いから感じたことや考えたことを自分なりの言葉でノートにまとめるよう助言する。</p> <p>○国が行うことだけでなく、その国民の一員として自分たちはどうしていくべきなのか考えるように助言する。</p> <p>◆国民の一員として、自分たちがこれからの日本のためにできることを考えようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</p> <p>○よりよい国を目指すための方策について調べたり話し合ったりしていくことを伝える。</p> <p>○単元のまとめでは、一人一人がこれからの日本についてプレゼンテーションをすることを伝え、意欲化を図る。</p>	

平成25年11月19日(火)

小学校西ブロック 第6回例会 授業研究

# 社会科学学習指導案

千葉市教育研究会 社会科部会研究主題

「みえる・わかる・・・いかす」  
よりよい社会の形成に参画する力を育てる社会科学学習

- 1 提案者 千葉市立稲毛小学校
- 2 小単元名 日本の歴史 新しい日本、平和な日本へ
- 3 授業展開 14:00～14:45  
6年2組教室(2階校舎1階)
- 4 協議会 図書室(2階校舎1階)

千葉市教育研究会 社会科部会



